

# 自主的に集団生活に取り組む生徒の育成 ～ビーイングを活用した学級活動を通して～

特別研修員 生徒指導・教育相談 早川健司(中学校教諭)

## 【生徒の実態】

- ・自分の言動に自信がなく、自主的に行動することが苦手な傾向がある
- ・仲間のよさや違った一面があることに気付くことができない生徒が見られる

**目指す生徒像**  
互いのよさを認め合い、自主的に  
集団生活に取り組む生徒

## 「ビーイング」とは！

生徒の等身大の人型にクラスの課題を書き込んだもの。行事のたびに学んだことを書き加え、次の活動に活かせるようにしました。

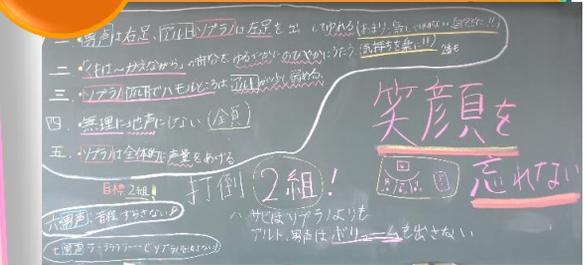
## 目標設定

ビーイングをもとに目標設定



ビーイングをもとに、クラス・個人・グループなど色々な形態で目標設定をしました。

## 実践 学校行事での実践



目標達成に向けて、どんなことが必要かを生徒同士で話し合い黒板にまとめました。



笑顔忘れずに！

目標が明確になり、目的意識を持って練習に取り組めるようになりました。

## 振り返り

スマイルシールで可視化



大きな声で歌えていたね

ありがとう！



振り返りでは、お互いのよさを認め合う活動を行いました。スマイルシールが貼られたことで、認められたことが可視化されます。

## 成果

- ◎学校行事を中心に、目標設定→実践→振り返りの取組を継続してきたことで、生徒の目的意識が向上し、自主的な行動が多く見られるようになった。
- ◎スマイルシールを用い、互いの認め合いを可視化したことで、課題を解決しようとする生徒が多くなった。

## 課題

- 自主的な行動をさらに引き出すために、どんな言動が目標達成のために有効であったかを共有する場が必要があった。
- 学級だけでなく、学年全体で目標達成に向けた取組を実践し、学年集団としての自主的な行動を増やしていきたい。

ビーイングを活用した学級活動の充実